

第二回中間報告書  
(報告期間 2016 年 10 月 1 日～12 月 30 日)

国際ロータリー第 2710 地区  
2016-2017 年度 地区補助金奨学生  
三澤志織

1. 報告書提出日：2016 年 12 月 30 日
2. 基本情報
  - 氏名：三澤志織
  - 派遣ホストクラブ及びカウンセラー：広島西ロータリークラブ、梶本政明様
  - 受入ホストクラブ及びカウンセラー：Rotary Club of Monterey Pacific, Ms. Lisa Luscombe
  - 教育機関：Middlebury Institute of International Studies at Monterey
  - 専攻分野：MA in Translation

1学期が12月半ばに終了し、渡米後約半年が経過いたしました。1月末までの長期の冬期休暇に入り、里帰りや旅行に出かける学生が多く学校の周りはとても静かです。前回のご報告時は学期が始まったばかりでしたが、今回はその後学期終了までの成果についてご報告いたします。

## 学業面での成果

私の所属するプログラムでは、多くの授業にて学期ごとに中間試験と期末試験が行なわれます。今学期は10月後半に中間試験、12月上旬に期末試験が行なわれたため、10月は中間試験の準備、11月後半から12月にかけては期末試験や期末プレゼンテーションの準備と、非常に慌ただしく過ぎていった3ヶ月間でした。その一方で、11月の初旬にサンフランシスコで開催されたATA Annual Conference (米国翻訳者協会年次会議)にクラスメイトと参加する機会もあり、よい経験となりました。

### 1. 授業について

翻訳、通訳、サイトトランスレーション（視訳）の授業では、それぞれ英語から日本語（英日）と日本語から英語（日英）のクラスがあり、1学期は6つのクラスを受講していました。

翻訳のクラスでは、今学期は一般的な内容のものに取り組み翻訳の基礎を学ぶというものでしたが、扱われた教材は観光パンフレット、料理のレシピ、書籍、ウェブサイトや雑誌の記事、映像字幕など様々でした。これまで翻訳は一人でやる作業がほとんどでしたが、クラスメイトと話し合いながら課題を完成させたり、同じ素材を他人が翻訳したものと比較したりすることで、自分では思いつかなかった表現や解釈の仕方など学べるものがたくさんありました。

通訳の授業は、当初は各自が用意したスピーチを使い、2～3分間メモを取らずに訳すという方法で行われ、集中して聞く訓練が中心でした。10月に入ると次第に、教授の用意する少し難易度の高い教材を使用して授業が行われるようになり、メモ取りを取り入れた本格的な通訳の訓練が始まりました。11月にはフランス語プログラムの学生との合同授業と全言語プログラムの合同イベントが開催されました。どちらもスピーカー役の学生が各言語で話したスピーチを通訳役の学生が英語に通訳していくというものです。他の言語の学生との共通言語は英語のみという状況の中、全員が交代でスピーカー役と通訳役のどちらも行き、どのように感じるかを体験しました。通常の授業では、正しく抜け

目なく訳をすることに集中しすぎてしまう結果、意識が自分に向いてしまいがちです。この経験によって、通訳は聞き手のために行っていることや、通訳の本来の目的は聞き手にメッセージを伝え、コミュニケーションの手助けをするということのを再認識し、良い通訳はどのようなものなのかということについて改めて学ぶことができました。他言語の学生からも刺激を受けることができた点でも貴重な経験でした。

扱われるテーマに関しては、通訳やサイトトランスレーションの授業では、授業の最後に次のテーマが与えられ、次回までにそれについてリサーチし、出てきそうな用語や背景知識を学んで授業に臨みます。テーマは様々で、結婚式や卒業式のスピーチや弔辞からエネルギー問題、環境問題、IT関係、人口問題や女性の社会進出、糖尿病についてなどが扱われました。授業の準備のためにこれらを勉強したことで、知識も随分増やすことができました。

他言語の学生と受講しているComputer assisted translation (CAT : 翻訳支援ツール) やLocalization project management (LPM : ローカリゼーション・プロジェクト・マネジメント) の授業では、通常授業時間の前半が講義、後半が実習で構成されています。他の授業と同様に実践に重点が置かれており、実務に役立つ様々な最新のツールやシステムについて学びました。これらの授業の山場は試験のかわりに学期の最後に行われるグループプロジェクトやグループプレゼンテーションです。CATのクラスでは、グループで翻訳支援ツールを使用して翻訳をするプロジェクトを行い、それを通じて学んだことについて最後にプレゼンテーションをいたしました。各グループが架空の翻訳会社となり、教授が扮するクライアントから翻訳案件を受注するという設定で、作業明細書や見積書の作成からクライアントとのミーティング、翻訳の作業までを授業で学んだことを活かして行うという実践的なものでした。大変でしたが面白いプロジェクトでした。LPMの授業では、毎回グループワークを中心に進められたのですが、こちらも各グループは架空の翻訳会社です。期末のプレゼンテーションは、各会社がある翻訳



(写真) LPM のプレゼンテーション後  
グループのメンバー、教授と

案件を勝ち取るために自社のサービスや仕組みについてアピールするプレゼンテーションを行うという設定でした。こちらも授業を通じて学んできたことを盛り込んで行うことになっており、授業の総まとめのようなものでした。まだ評価は出ていませんが、よい発表ができたと思います。

## 2. 試験について

翻訳、サイトトランスレーション、通訳の6つのクラスで中間試験と期末試験が行なわれ、試験結果もすべて返却されました。結果はA+, A, A-, B+, B, B-, C+, のように評価され、B以上が合格点です。中間試験の結果は、英日翻訳がA、英日サイトトランスレーション、日英サイトトランスレーションがA-、日英翻訳、英日通訳、日英通訳がBでした。期末試験では、英日翻訳、日英翻訳、英日サイトトランスレーション、日英サイトトランスレーションがA-、英日通訳がB、日英通訳がB-という結果となり、課題が残りました。日英通訳については、教授からもっと英語力を上げていかないといけないという厳しい評価をいただきました。日英通訳はこれまで最も不得意で、最も上達したいものだったので、力を入れて練習してきただけに残念な結果でした。ですが、今後伸びていくことを信じ冬休み中も練習に励みたいと思います。一方で、日英の翻訳とサイトトランスレーションについては、教授にクラスで一番伸びたと言っていただけ、励みになりました。

## 3. その他

11月2日から5日にサンフランシスコで行われたATA Annual Conference（米国翻訳者協会年次会議）に参加してまいりました。4日間にわたり翻訳通訳関連の講演やワークショップなど様々なプログラムが行なわれた翻訳者通訳者のためのイベントです。毎年米国のいずれかの都市で開催されているのですが、今年は運良くモンレーから近いサンフランシスコで開催されたため、翻訳通訳プログラムの学生は参加を特に奨励されていました。第一線で活躍されている翻訳者や通訳者の方の様々な講義を聞くことができる良い経験でした。私は日本翻訳者協会（JAT）の主催する同様のイベントに何度か参加したことがあるのですが、今回は英語が中心言語のため、様々な言語の翻訳者や通訳者が参加しており新鮮でした。期間中には、私の学校MIISの卒業生・関係者のレセプション、日本語の翻訳者通訳者のレセプションも開催され様々な方と知り合うことができたのも良かったと思います。

## 受入地区でのロータリーとの関わり

受け入れクラブについて、当初3つのクラブに一定期間ずつ受け入れていただけの予定だったのですが、他のクラブを訪問させていただくチャンスがなかなか作れていないこともあり、**Rotary Club of Monterey Pacific**に現在もお世話になっています。

**Rotary Club of Monterey Pacific**のミーティングには、カウンセラーの Lisa さんとお互いに都合がつく時に引き続き参加をさせていただいています。いつもクラブの一員として暖かく迎えてくださいます。毎日課題や勉強をこなすのに必死になってしまい、学校にこもりがちなのですが、こうしてミーティングに参加させていただくことで、様々な方の話を聞き、学校外の方々と交流できる機会を持てるのは、非常にありがたく恵まれていると感じます。11月には、パスト・ガバナーの **Shirley Grace** さんがクラブのミーティングにプレゼンテーションをしに



(写真) クリスマスパーティーにて  
**Rotary Club of Monterey Pacific**の皆さんと

来てくださり、久しぶりにお会いすることができました。12月中旬にはクラブのクリスマスパーティーに招待していただきました。ロータリアンの方のご自宅で行われ、美味しい軽食にプレゼント交換のゲームなど楽しいひと時を過ごさせていただきました。一方で、同クラブのイベントやロータリアンの方の関

わっているボランティア活動にも誘っていただくのですが、土曜日に授業があるため、いつも都合がつかずなかなか参加が叶っていません。授業のためしょうがないとはいえ、せっかくロータリーの奨学生として留学させていただいている機会を活かしきれないことは申し訳なく残念にも思います。今後参加できる機会があればいいと願っています。



(写真) クリスマスパーティーにて  
Club President の Lisse さんと

## 直面している課題、今後の目標

英語力の強化が引き続き現在の課題です。1学期は授業のための勉強で精一杯で、英語力自体を伸ばすための勉強がどうしても後回しになってしまいました。通訳の力が伸び悩んでしまったのも英語力がまだまだ不足していることが大きな要因であり、基礎の勉強をおろそかにしてしまったことを反省しています。幸いなことに長期の冬休みがあるため、この期間を利用しこれまでできてこなかった読書や語彙増強などに取り組み、来学期に備えたいと思います。

今後の目標は、もっと行動範囲や交友関係を広げていくことです。この3ヶ月間も引き続き、目の前にある勉強をこなしていくのに必死であったため、気がつけば生活の範囲が極端に狭くなっていました。具体的には、大半の時間を日本語プログラムのクラスメイトと過ごし、行動範囲も自宅、教室、図書館と勉強会をするカフェテリアを行き来するのみの日がほとんどの状態でした。せっかく留学をしているので様々な体験をしないともったいないですし、積極的に行動範囲を広げた方が英語力向上にも役立つと感じています。他のプログラムの友人と交流したり、授業以外の活動に参加したりする時間を工夫して少しでも作っていくことがこれからの目標です。